

1993 年度土地制度史学会秋季学術大会（於 九州大学）

第1日 10月9日（土）

1. 自由論題報告

第1会場 文系講義棟201講義室 9:30~16:00

1. 「技術説」の一展開—価格規定と労働の社会的配分— 名古屋大学大学院 佐藤 努
2. 多国籍企業による種子支配とバイオテクノロジー 京都大学大学院 久野 秀二
3. アメリカ合衆国における移民の流入と労働市場の再編成 城西大学 庄司 啓一
4. ME化の展開と帰結—「ME循環」の問題を中心に— 関東学院大学 久保 新一
5. 「平成不況」の性格とその帰結—「複合不況」論の検討を通して— 大東文化大学 山本 孝則

第2会場 文系講義棟102講義室 9:30~17:00

1. 低米価政策下における米作経済構造の危機 九州大学 安部 淳
2. 韓国の農地保全制度 九州大学 深川 博史
3. 中国農村経済における郷鎮企業の位置とその経営構造 鹿児島大学連合大学院 李 航
4. フィリピンの農業発展と新農民層の出現—ポルシェントハンの実態調査— 九州大学 西村 知
5. 戦間期アルゼンチンの食肉輸出と牧畜業保護政策 名古屋大学大学院 榎股 一索
6. 共通農業政策改革と環境保護団体—イギリスの経験から— 東京経済大学 福士 正博

第3会場 文系講義棟202講義室 9:30~17:00

1. 薩藩支配下の琉球王国の土地制度 法政大学 山本 弘文
2. 比較史からみた日本の地租改正 神戸学院大学 長妻 廣至
3. 政商資本の地方進出と地場資本－三井・三菱の北海道進出を中心に－
東京大学 中西 聡
4. 1880年代における鉄道政策の展開 日本学術振興会特別研究員 中村 尚史
5. 日露戦後の町村経済とその振興－福島県伊達郡川俣町を事例として－
東北大学大学院 山内 太
6. 戦間期の採炭機構の合理化と労働指揮権 京都大学大学院 鮎川 伸夫

第4会場 文系講義棟301講義室 9:30～17:00

1. カスティーリャの《メスタ協議会》史研究上のいくつかの基本問題
札幌大学 五十嵐一成
2. 19世紀中葉南ウェイルズ製鉄業資本による地域支配－ダウラス製鉄会社の
「パターナリズム」について－ 京都大学研修員 両角 成広
3. アメリカにおける企業合同運動（1882-1904）の歴史的意義－現代化の一考察－
大阪経済大学 谷口 明文
4. 1920年代ドイツにおける石炭市場の展開 和洋女子大学 田野 慶子
5. イギリス帝国ブロックの形成とインド－1930年代のインドの貿易構造と国際収支の
動向を中心に－ 小樽商科大学 井上 巽
6. SED（ドイツ社会主義統一党）政府の労働者政策－東ドイツ1953年6月17日
労働者蜂起をめぐって－ 名古屋大学大学院 石井 聡

2. 総会 文系講義棟101講義室 17:00～18:00

3. 懇親会 工学部食堂 18:15～20:00

第2日 10月10日(日)

共通論題報告 文系講義棟101講義室 9:30~17:00

両大戦間期ヨーロッパにおける資本主義の再編

報告

1. 両大戦間期フランス資本主義と「アメリカニズム」への対応 東京大学 廣田 功
2. 両大戦間期ドイツ資本主義の産業構造変化と社会階級
—職員層 Angestelltenchaft の事例に即して— 千葉大学 雨宮 昭彦
3. オタワ協定と現代農業政策の登場 東京大学 森 建資

コメント

千葉大学 秋元 英一

討論

司 会

名古屋大学 藤瀬 浩司
関東学院大学 大森 弘喜
熊本大学 桑原 莞爾